

# きずな

## 小牧市民病院の理念

- 1 安全で質の高い急性期医療を行います
- 2 恕の心で患者さんに寄り添う病院を目指します
- 3 医療を通じて、安心して暮らせる地域の実現に貢献します

発行者／小牧市常普請一丁目20番地 小牧市民病院 院長 谷口健次 TEL(0568)76-4131  
<http://www.komakihp.gr.jp/>



「ハイブリッド手術室」



キミと一緒に、育っていきなさい。  
**Komaki**

ニュース ● 新病院建設の進捗状況

特集 ● ハイブリッド手術室について

健康教室 ● 病理検査って？

各科だより ● 放射線科

職場紹介 ● 生殖医療センター

意見箱から ● 設備表示等、改善に努めてまいります

お知らせ ● 市民病院案内図 外来案内など

# 新病院建設の進捗状況

新病院は、旧病院西側の公園・職員宿舎・駐車場・アパートなどがあった場所に平成28年9月から建設工事を始め、29ヶ月後の平成31年1月に9階建ての診療棟と4階建ての管理棟が完成しました。

新病院完成後には、医療機器や待合の椅子など新病院で必要な機器類等の整備を進め、くしくも新元号が始まる令和元年5月1日に旧病院の診療機能を新病院へ移転することになり、新病院が開院しました。

ゴールデンウィーク明けの5月7日には外来診療も新病院で始まり、新病院での運用が本格的に始まりました。

病院施設については旧病院部分も利用する計画であるため、旧病院解体部分に計画した外構工事は未だ途中段階であり、しばらくの間は旧ロータリーを利用するなど皆様にご不便をお掛けしています。

現在は、旧病院の解体工事の最中ですが、今年4月には新病院の東側ロータリーも完成しますので、その後は、巡回バスやタク

シーを利用する方、車椅子を利用する方は、東ロータリーで乗り降りいただくことが出来るようになります。

また、12月には新病院の東ロータリーに加え、南ロータリーが完成します。

南ロータリーはバスとタクシー専用となりますので、巡回バスやタクシーを利用する方については、南ロータリーをご利用いただくこととなりますが、東ロータリーは、引き続き患者さんの乗降場所として利用できる運用となります。

この時期には新病院南側に計画していますコンビニも整備され、現在ありますコンビニの機能が新病院のすぐ南側へ移りますのでご利用しやすくなります。

旧病院が全て解体される予定の令和2年12月頃には旧病院部分に計画しています立体駐車場の整備が始まり、令和3年度中には完成する予定です。新しくできる立体駐車場からは、雨にも濡れずに新病院へアクセス出来るようになります。



新病院の完成イメージパース

立体駐車場の規模は、380台程度駐車できる建物になる予定です。  
立体駐車場の整備が始まると同時期には公園の整備も始まり、公園についても令和3年度中には整備が完了する予定です。

## ハイブリッド手術室について

新病院の開院に伴い、ハイブリッド手術室が始動しました。ハイブリッド手術室とは、従来の「手術室」と「心血管・脳血管撮影装置」を組み合わせた次世代型の手術室です。手術室の空気清浄度の環境下であるため感染防止に有効で、無影灯をはじめとする手術に必要な照明機器も配備しているため、通常通りの手術が可能です。

ハイブリッド手術室には、懸垂型の高画質な透視・撮影を行うことができる血管造影装置が設置され、高精度のカテーテル治療も同じ部屋で可能となりました。

カテーテルのみの治療は血管造影室で行うことができますが、カテーテル挿入の際、穿刺では困難な血管からのアプローチが必要となる場合や、ステントグラフト治療のように挿入するカテーテルが非常に太い場合には、皮膚を切開し、大腿動脈を露出する外科的手術が必要となり、従来の血管造影室では施行が困難でした。また、血管造影室は手術を行うには清潔度が不十分なため、感染症の危険がありました。ハイブリッ

ド手術室は外科と内科が一緒に治療を行う際、非常に安全、かつ安心して治療の行える手術室です。手術単独またはカテーテル単独では治療できない病変に対しても、血管内治療と外科手術を同時に行うことで治療が可能となりました。従来であればカテーテルと外科手術を2回に分けて行っていたものを同時に1回の治療で行うことが可能となりました。更に、血管内治療と外科手術を組み合わせることで小さな手術創や小さな侵襲での治療も行えるようになりました。

当院ではこのハイブリッド手術室を用いたハイブリッド手術を行うことで、患者さんにより低侵襲かつ効果的な治療の提供を目指しております。具体的な治療としては胸部大動脈瘤や腹部大動脈瘤に対するステントグラフト治療や、ステントグラフト治療を組み合わせたハイブリッド手術、閉塞性動脈硬化症に対するバイパスとバルーン拡張の同時施行などがあげられ、経カテーテル生体弁による大動脈弁置換手術の導入

も視野に入っています。また、血管造影検査室ではなく手術室へハイブリッド手術室を導入することで、麻酔科、外科、内科医師、および医療スタッフの迅速かつ緻密な連携が可能になり、最新の医療技術への対応が可能となりました。このことで、より高水準で良質な医療を提供できると考えています。





## 病理検査って？

今回は、あまり聞いたことのない病理検査について簡単に紹介します。

病理診断科では、常勤病理医1名、非常勤病理医4名と臨床検査技師7名が働いています。

病理検査は主に①組織診断（生検材料、手術材料）②手術中の迅速診断③細胞診断④病理解剖からなります。この全てにおいて標本を作製し顕微鏡で診断します。

**①組織診断**

内視鏡検査で胃や腸・肺等の病変部の一部から採取した微量な組織や、手術により摘出されたさまざまな臓器から標本を作製します。どのような病変がどれくらい進行しているか、とりきれたのか、追加治療は必要か、転移がないかなどを診断します。最近では癌に効く薬が使えるかの検査も行い、治療に役立つたくさんの情報を臨床医に提供します。このような診断は病理医が行います。ちなみに、女優の芦田愛菜さんが「将来病理医になりたい」と言ったことによりちょっと話題になりました。

**②手術中の迅速診断**

手術中に病変部から採取した組織が良性か悪性かの診断を行ったり、転移や病変部の取り残しがないかなどを調べて、手術で切り取る範囲を決定したりします。

採取より20分ぐらいで標本を作成し診断します。

**③細胞診断**

顕微鏡で、細胞の形態を観察します。体から自然に排泄される痰や尿などを細胞診の材料として用いれば、痛みを感じることなく、何度でも繰り返し検査を行うことが可能です。子宮癌の検査のように、集団検診として、一度にたくさんの方の検査ができることも特徴の一つです。細胞検査士がスクリーニングを行い、病理医が最終診断を行います。

**④病理解剖**

ご遺族の承諾のもとに死因や治療効果、病気の進行具合を判断するために当院で亡くなられた患者さんの解剖を行います。また、病理解剖させていただいた症例につい

ては検討会を行い医学教育にも重要な役割を担っています。

日本人の2人に1人が一生のうちに1度はがんにかかる時代です。

病理診断科はみなさんの健康を守るため、がんの早期発見と正確な診断に貢献すべく日々努力しています。

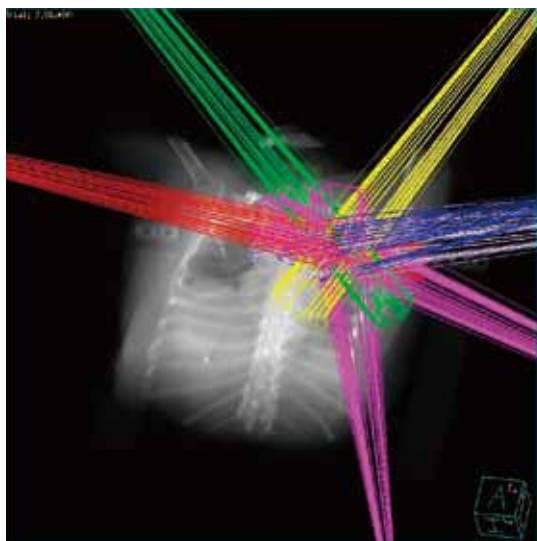


前回、放射線治療の適応と治療の進め方を紹介しました。

今回は当院が行っている肺がんの定位放射線治療について紹介します。

肺がんの定位放射線治療は、限局した肺がんに対して多方向から、正常組織を避けながら1回にたくさん量の放射線を当て、治療する方法です。(図)

1回に当てる放射線の量が多いため、がんを叩く効果が大きく、手術でがんを取り除くように放射線を使って小さい範囲を徹底的に治療します。そのため手術では負担の大きい高齢の方にも適応となります。た



(図 多門照射)

だし、体の動きが治療には大きく影響しますので、「治療中は必要な動きをしない」「呼吸を一定に保つ」などの患者さんの協力が必要となります。

次に肺定位放射線治療の進め方を紹介します。まず治療開始1週間前に体が動かないようにするための固定具を作り、これを使いCTの撮影をします。その後、放射線を当てる方向や範囲や強さ、量を決定する治療計画を立てて、その治療計画の妥当性や精度の検証を行ってから治療開始となります。

治療当日は、治療の位置決め、位置照合などに時間を要し、1回の治療に30分から1時間程の治療時間が掛かります。治療期間、治療回数は患者さんの状態などによって決まりますが、2週間程度の治療期間となります。

肺定位放射線治療に限らず、放射線治療の効果は治療中には現れないことがあります。なかには十分な効果が認められるまで、数カ月かかることもあります。しかし治療

を中断することなく、一定期間内に治療を終了する必要があります。これにより治療効果がより高まりますので、治療の継続が大切です。

また、放射線治療によって副作用が出現することがあります。放射線治療の副作用の多くは放射線が当たる部位に出ます。例えば、放射線の当たる部分が皮膚炎で赤くなったり、頭部であれば一定期間の脱毛が起きます。また、頸部の治療では喉が痛くなり、食事をとるときに工夫が必要になります。

これまで3回にわたり放射線治療について紹介しました。当院では放射線治療専門医、放射線治療専従看護師、放射線治療専門放射線技師という専門スタッフが放射線治療を担当しています。放射線治療について疑問に思うことや、不安なことがあれば、専門スタッフが対応します。

生殖医療センターは、不妊症で悩む方々の治療をサポートする専門の部署です。当センターは、医師、看護師、胚培養士という多職種から構成され、チームで治療に取り組んでいます。不妊治療には段階があり、タイミング療法、人工授精、体外受精・胚移植、顕微授精とステップアップしていきます。今回、これらの治療をサポートする各スタッフの仕事内容を紹介いたします。

**医師は**、まず患者さんのホルモン値の状態、子宮や卵巣、卵管などを診て、その方のご希望を考慮しつつ、適した治療法を提示させて頂いています。なかなか妊娠しない場合、人工授精や生殖医療（体外受精や顕微授精など）へとステップアップしていきますが、これらは医師の知識や経験がその結果に大きく関わってきます。また、生殖医療の治療法は日進月歩で新しい方法が出てきますので、エビデンスがしっかりした方法を取り入れ、これまでの治療法と組み合わせるなど、提案しています。

**看護師は**、診察や内診時などに医師をサポートし、医師が提示した治療スケジュールや処方した薬などの確認をしています。そのスケジュールをもとに、患者さんへの説明、ホルモン注射や採血などの処置を行っています。また、診察時に医師に聞き

忘れたことや気になる点などに関しても対応をさせていただいています。さらに、人工授精や体外受精の採卵・移植の介助なども担当しています。

**胚培養士は**、エンブリオロジストとも言われ、産婦人科医師の指導の下、体外受精や顕微授精などを行う医療技術者です。胚培養士は、患者さんと顔を合わせることが少ないため、ご存知ない方が多いかと思いますが、「縁の下の力持ち」的な存在で、体外受精や顕微授精などの治療の結果は、胚培養士の力量で大きく変わってきます。



業務内容としては、基本的に「培養室」という空気清浄度が高い部屋で、患者さんよりお預かりした配偶子（精子・卵子）、受精卵、胚を培養・管理しています。人工受精や体外受精の精液処理、体外受精・顕微授精、受精卵の培養・凍結・融解、胚移植などを担当しています。

不妊治療は、患者さんにとって精神的、身体的、金銭的にとても負担のかかる大変な治療だと思いますので、生殖医療センターのスタッフ一同全力でサポートし、多くの方に「笑顔で卒業」していただけるよう頑張っています。



（生殖医療センターは、5階西側にあります。）



当院では、意見箱を設置し、来院者の方からのご意見、ご要望に対してできる限りお応えできるよう努めています。そこで、お寄せいただいたご意見、ご要望の一部を紹介させていただきます。

## 《いただいたご意見》

トイレ(W.C.)の表示が欲しい。エレベーターの表示が欲しい。  
各所受付に時計が欲しい。



## 《ご意見に対するお答え》

管 財 課

この度は、貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございます。

トイレ等の案内表示や時計につきましては、新病院開院後に多くのご意見をいただいたため、表示方法の改善や増設を行ってまいりました。今後も、ご意見を参考に院内で協議し、改善に努めてまいります。

なお、現在は各階の柱や壁面に案内表示を設置している他、エレベーターホールにはその階全体の案内図を掲示し、併せて1階と2階にご案内をする職員を配置しています。また、時計につきましては、エレベーターホールやロビーに設置している他、総合受付にも設置するとともに、外来のモニターにも時計表示をしておりますので、ご利用ください。

上記以外にもご不明な点がございましたら、お手数ですがお近くの職員にお声かけください。

## 小牧市民病院の基本方針



### 1. 医療の質の向上

職員は自らの専門性を高めつつ、安全で質の高い医療を追求します。

### 2. 患者本位の医療の実践

「恕」の心で患者さんの立場に立った思いやりのある医療を行います。

### 3. チーム医療の強化

コミュニケーションを良好にし、患者さんを中心としたチーム医療を推進します。

### 4. 医療人の育成

働きがいのある病院づくりに努め、地域医療を支える優れた医療人を育成します。

### 5. 地域社会への貢献

急性期医療を担う中核病院として、地域社会のニーズに応える病院事業を推進します。

### 6. 地域医療連携の推進

地域完結型医療に向けて、地域の医療機関との役割分担・連携を推進し、地域の医療水準の向上を目指します。

### 7. 健全な経営

医療情勢の変化に対応し、安定した経営基盤の確立を目指します。

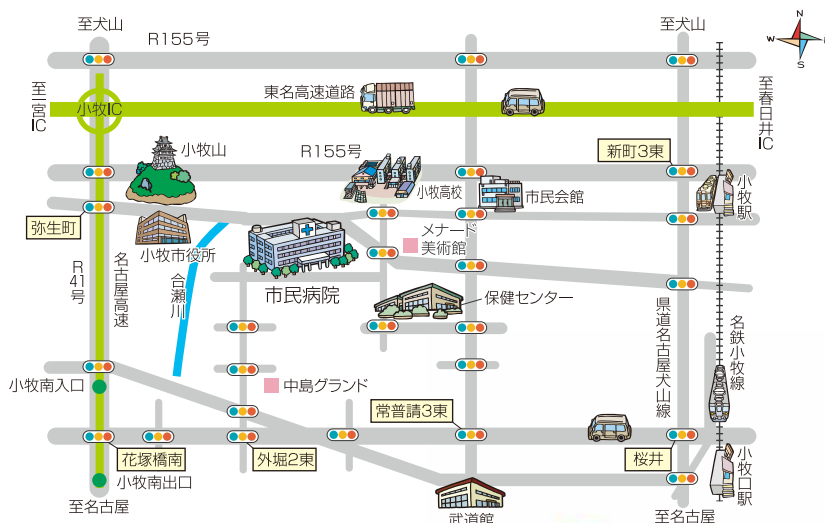
## 臨床研修理念

・「恕の心」を持って、謙虚、感謝の念を忘れずに、プライマリ・ケアの診療が出来る医療人を育成します。

## 臨床研修の基本方針

- (1)医療の本質の「仁」と「尽」を理解し、人格のかん養に努め、患者・家族中心の医療を実践します。
- (2)チーム医療の重要性を理解し、他者からの意見を真摯に受け入れた医療を実践します。
- (3)常に最先端の医学的知識の習得を心掛け、最善の医療の提供に努めます。
- (4)地域医療に参画し、全人的医療を実践します。

## 市民病院案内図



- 名鉄小牧駅から徒歩15分
- 名鉄小牧駅から岩倉駅行きバスで小牧市民病院前または小牧市民病院北下車3分
- 東名・名神高速道路小牧インターから車で5分
- 名古屋高速11号小牧線小牧南出口から車で5分

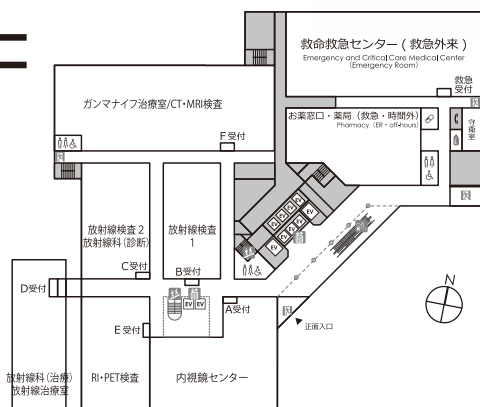
### ■ 有料駐車場料金

8時間までは100円  
8時間を超えると1,000円加算  
以降8時間を超えると1,000円加算



## 外来案内

1F



### 〈診療受付時間〉

午前8時30分～午前11時30分

### 〈診療時間〉

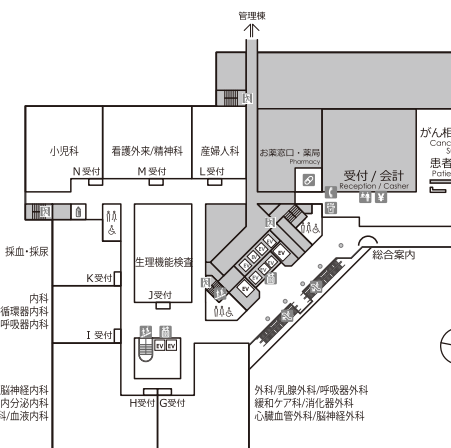
午前9時～午後5時

### 〈休日〉

土曜・日曜・祝日・年末年始

※急患の方は、救命救急センターで随時診療

2F



3F

